



ふれあい

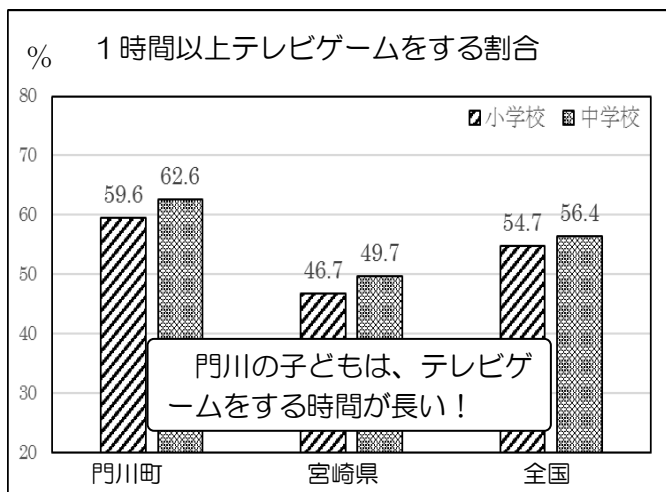
平成26年10月NO7
発行 門川町教育研究所
所長 新原とも子
TEL 63-1566
五十鈴小学校内(教育相談室)

今月は、全国学力・学習状況調査の情報をお届けします！

全国学力・学習状況調査は4月に行われ、8月の末に結果が発表されました。その中から、学力と深くつながっている「テレビゲームや携帯電話・スマートフォンの使用」と「読書」について、門川町の児童生徒の実態に関する情報をお届けします。(小学校6年・中学校3年対象調査)

テレビゲームや携帯電話・スマートフォンの使い方が心配です！

宮崎県や全国と比べて、多くの子どもが長い時間遊んだり使ったりしています



テレビゲームの時間が長い！

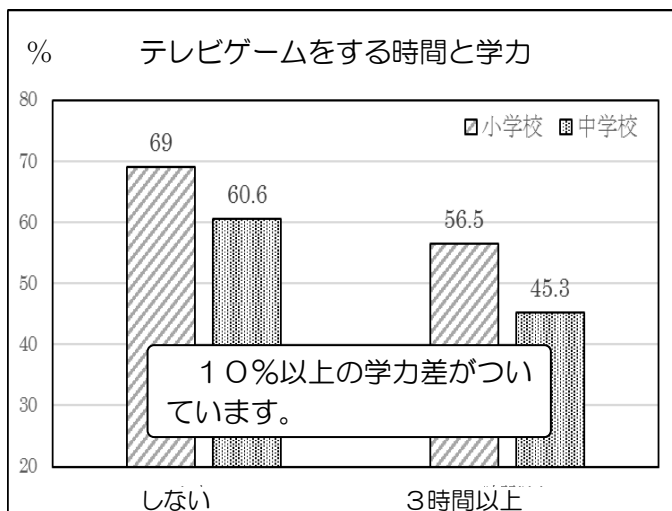
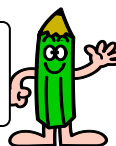
門川町の子どもで1時間以上テレビゲームをする割合は、小中学校とも宮崎県の平均と比べて約10%以上、全国平均と比べて約5%以上、多くなっています。

中には、4時間以上するという子どもが、約10%もいます。長い時間、テレビを見たり、テレビゲーム(携帯ゲームも含む)をしっていると、当然勉強する時間が少なくなります。家庭でルールづくりが必要です。



テレビゲームをする時間と学力の関係

テレビゲームと正答率の関係を示しています。



10%以上の学力差があります！

門川町の子どもの実態を調べたところ、テレビゲームをしないという子どもと、3時間以上する子どもの学力差は、小中学生とも約10%以上もありました。

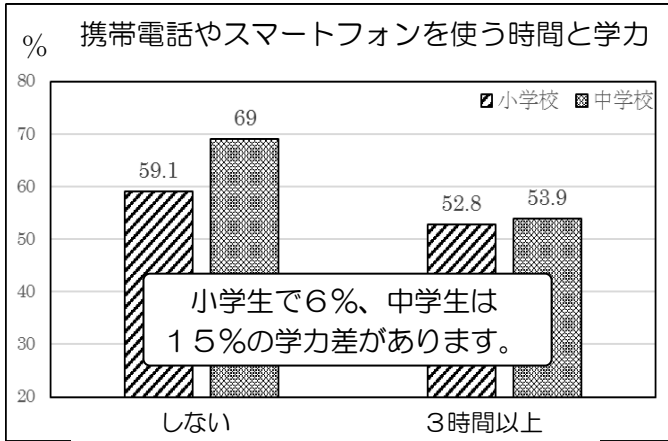
長時間のテレビゲームをすることで、学習時間が少なくなり、学力に影響しているのかも知れません。テレビゲームのルールをつかって、長時間にならないようにコントロールする必要があります。

メディアコントロールが必要です！

テレビやゲーム、携帯電話やスマートフォン使用のルールを決めることを「メディアコントロール」といいます。家庭でよく話し合って、「わが家のルール」をつくる必要があります。

携帯電話やスマートフォンの使用と学力の関係

門川町の子どもは、小学6年生で約60%、中学3年生で約70%が携帯電話やスマートフォンを使用しています。



使用時間が長いほど大きな影響！

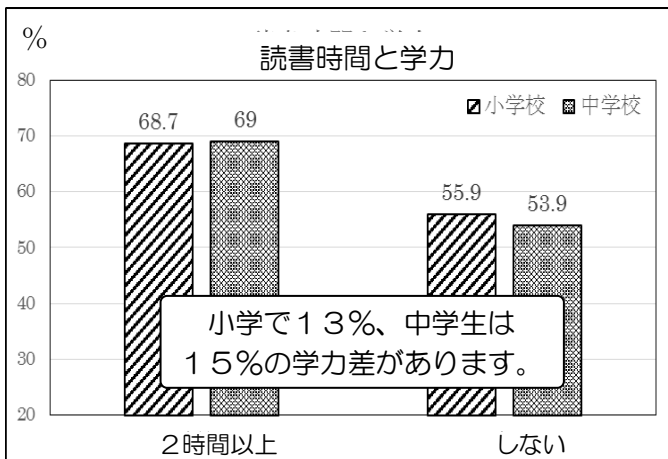
携帯電話やスマートフォンを使わないという子どもと、3時間以上使う子どもでは、小学6年生で約6%、中学3年生では約15%の学力差がありました。

携帯電話やスマートフォンを使う時間が、学習する時間に影響していることがうかがえます。家庭でのルールづくりが大切です。学習が手につかない子どももいるようです。

読書は、学力と深い関係があります！

よく読書をする子どもは学力も高くなっています。

読書をする時間と正答率の関係を示しています。



読書は、学力向上のポイントです！

門川町の子どもは、説明したり意見を言ったりすることが苦手だということが分かっています。また、読書をまったくしないという子どもが約20~30%います。(平成26年度学習状況調査より)

読書は、言葉を豊かにし、表現力とも深いつながりがあります。物語や説明文を読むことで、言葉の力を高めることが大切です。



教育研究所からのメッセージ！

門川町では、学力向上の取組の一つとして、「メディアコントロール」と「家読（家族で読書）」に取り組む活動をすすめています。この二つは、子どもの学力と深くつながっています。すべてを子どもにまかせっぱなしにするのではなく、「わが家のルール」をつくったり、親と一緒に取り組んだりすることにより、子どものよりより成長の後押しをしましょう。特に、「メディアコントロール」は、携帯電話やスマートフォンに関連する問題の発生や被害の発生を防ぐために大変大切です。親子でよく話し合っ、て、「わが家のルール」をつくりましょう。



子どもの教育や子育てで、悩んでいませんか？

困った時には、教育相談室に気軽に電話をしてください。

相談電話（門川町教育相談室）
63-1566

~~~~返信欄（教育研究所便り「ふれあい」へのご意見やご感想をお聞かせください。）~~~~